



## 村治 奏一 (ギター)

*Soichi Muraji*

幼少よりギターを父・昇の手ほどきで始め、その後福田進一、鈴木大介両氏に師事。1997年クラシカル・ギター・コンクール、1998年スペイン・ギター音楽コンクール、第41回東京国際ギター・コンクールに続けて優勝。1999年より米国ボストン近郊の総合芸術高校ウォールナット・ヒル・スクールに留学し、ギターをニューイングランド音楽院でデイビット・ライズナー教授及びエリオット・フィスク教授に師事。'03年同高校音楽科を首席で卒業し、同時期にビクター・エンタテインメントよりリリースしたデビューアルバム『シャコンヌ』は、レコード芸術誌の特選盤に選ばれる。同年ニューヨークのマンハッタン音楽院に進学。2006年ジョン・F・ケネディ・センター（ワシントンD.C.）にてソロサイタルを行い、本格的な米国デビューを果たす。メディアへの登場も多く、NHK「スタジオパーク」や「トップランナー」、「J-MELO」をはじめテレビ、ラジオに多数出演。2008年には西本智実指揮・モンテカルロフィルハーモニー管弦楽団の「新世界ツアー2008」にソリストとして抜擢され、アランフェス協奏曲の国内ツアーを成功させる。2010年にはNHK-BS「街道てくてく旅～熊野古道をゆく～」のテーマ曲《コダマスケッチ》を作曲・演奏。2012年春には米S&R財団が主催するコンサートシリーズ「Overture（オーバーチュア）」に庄司紗矢香（Vn）、小菅優（Pf）らと共に参加し、ワシントンD.C.にてソロサイタルを行う。又、同年秋には「トヨタ・クラシックス・アジアツアー2012」のソリストとして抜擢され、ウィーン室内管弦楽団と共にアジア5カ国でのコンサートツアーを成功させた。2014年、初のコンチェルトアルバム『コラージュ・デ・アランフェス』（平成26年度文化庁芸術祭参加作品）をキングレコードよりリリース。又、同年には10枚目となるソロアルバム『SPARKS』をクラウドファンディングにより制作し話題となる。2015年も東京オペラシティ「B→Cシリーズ」でのソロサイタル、東京文化会館大ホールでのNHK交響楽団とのアランフェス協奏曲協演など積極的な活動を続けている。